

下水道（汚水）事業の 建設改良計画について

村上市上下水道課

目 次

①村上市下水道（污水）事業のこれまでの経緯	・ ・ ・ 3
②村上市下水道（污水）事業の現状	・ ・ ・ 4
③村上市下水道（污水）事業の近年の整備状況と今後の予定	・ ・ ・ 7
④今後の主な建設改良事業（污水）の計画内容	・ ・ ・ 8
⑤今後の建設改良事業計画と投資額（污水）	・ ・ ・ 9
⑥広域化（集排統廃合）に伴う効率化による維持管理費削減効果	・ ・ ・ 10

①村上市下水道（污水）事業のこれまでの経緯

旧山北町農業集落排水中浜地区で昭和59年に供用開始されたのを初めとして、各旧市町村が公共下水道（以下「公共」）、特定環境保全公共下水道（以下「特環」）、農業・漁業集落排水事業（以下「集排」「漁集」）で進めてきた。特に平成4年度頃から平成13年度をピークに平成17年度頃までに、各旧市町村が下水道整備を促進し多額の投資を行った。平成20年度に5市町村が合併し新村上市へ引継した。公共村上処理区及び荒川処理区、集排門前・鋳物師地区及び上海府地区の整備を実施していた。平成23年度には、公共・特環が11処理区（うち伊呉野処理区は山形県鶴岡市鼠ヶ関処理区へ接続していたため処理施設はない。）、集排施設18地区となった。その後、漁集で整備した寝屋地区が老朽化のため、改築更新により隣接する特環八幡処理区へ統廃合する方が安価となったため平成28年度に接続工事を実施した。これにより、集排施設が17地区となった。また、集排で整備した山辺里地区では、宅地開発が進み山辺里処理場の処理能力を超える人口となったため、施設の増設より将来を見込み隣接にある特環朝日処理区へ一部（西興屋・四日市集落）統合した方が安価となるため平成28年度に接続工事を実施した。なお、平成25年度に荒川処理区、令和5年度に村上処理区の面整備が完了し市の下水道整備は概成した。

②村上市下水道（污水）事業の現状

下水道（污水）施設の資産

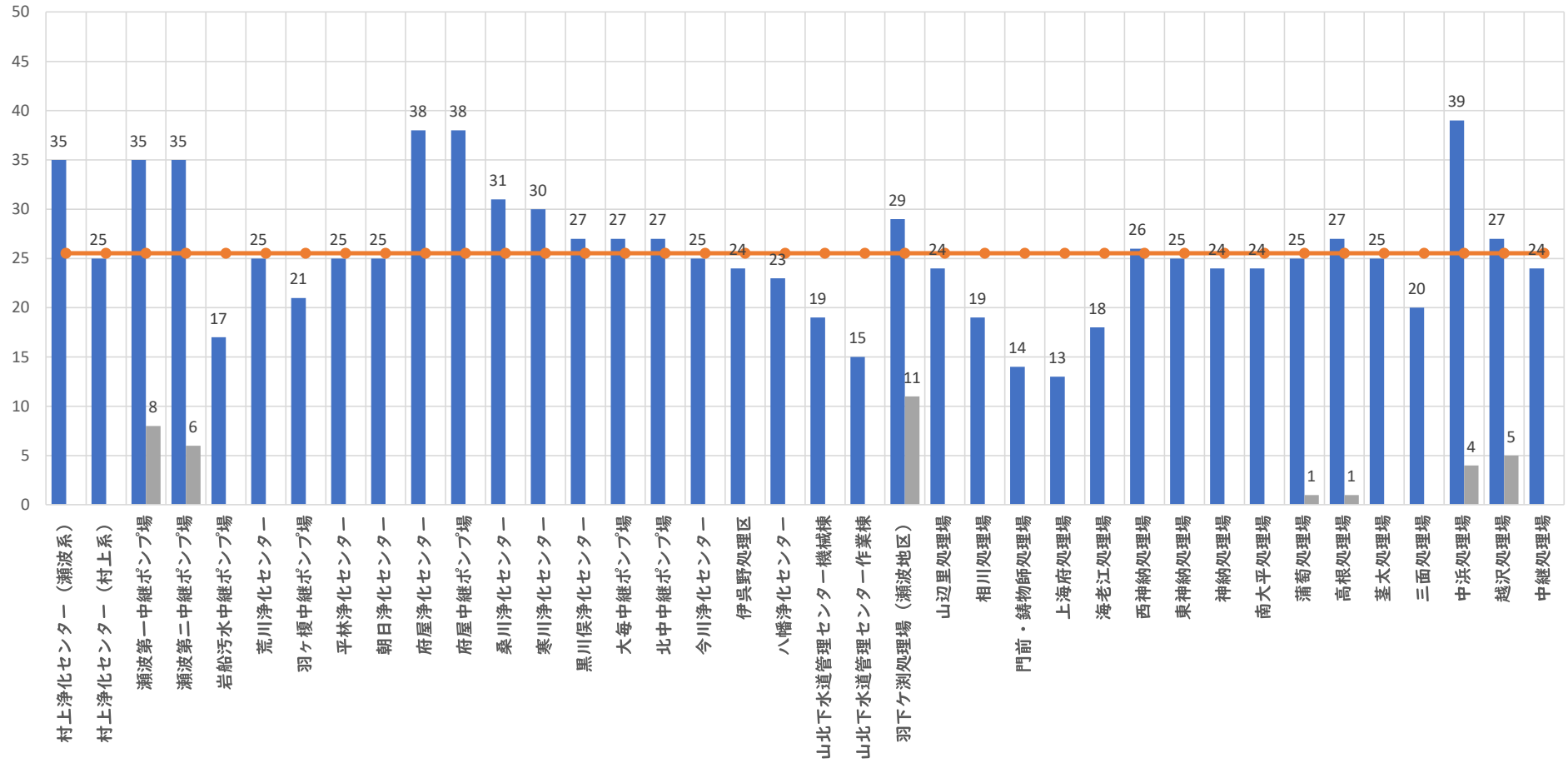
- ・ 処理施設N=27箇所 中継ポンプ場N=7箇所 管理センターN=1箇所
汚水管及び温泉排水管延長L=658,384.17m（658.38km） マンホールポンプN=403箇所
内訳 ・ 公共浄化センターN=2箇所 ポンプ場N=4箇所 汚水管延長L=255,913.18m 温泉排水管 L=5,287.91m
マンホールポンプN=73箇所
- ・ 特環浄化センターN=8箇所 ポンプ場N=3箇所 管理センターN=1箇所 汚水管延長L=225,390.62m
マンホールポンプN=163箇所
- ・ 集排処理場N=17箇所 汚水管延長L=171,720.13m マンホールポンプN=167箇所
- ・ 小型合併浄化槽（神林地域）N=30箇所

課 題

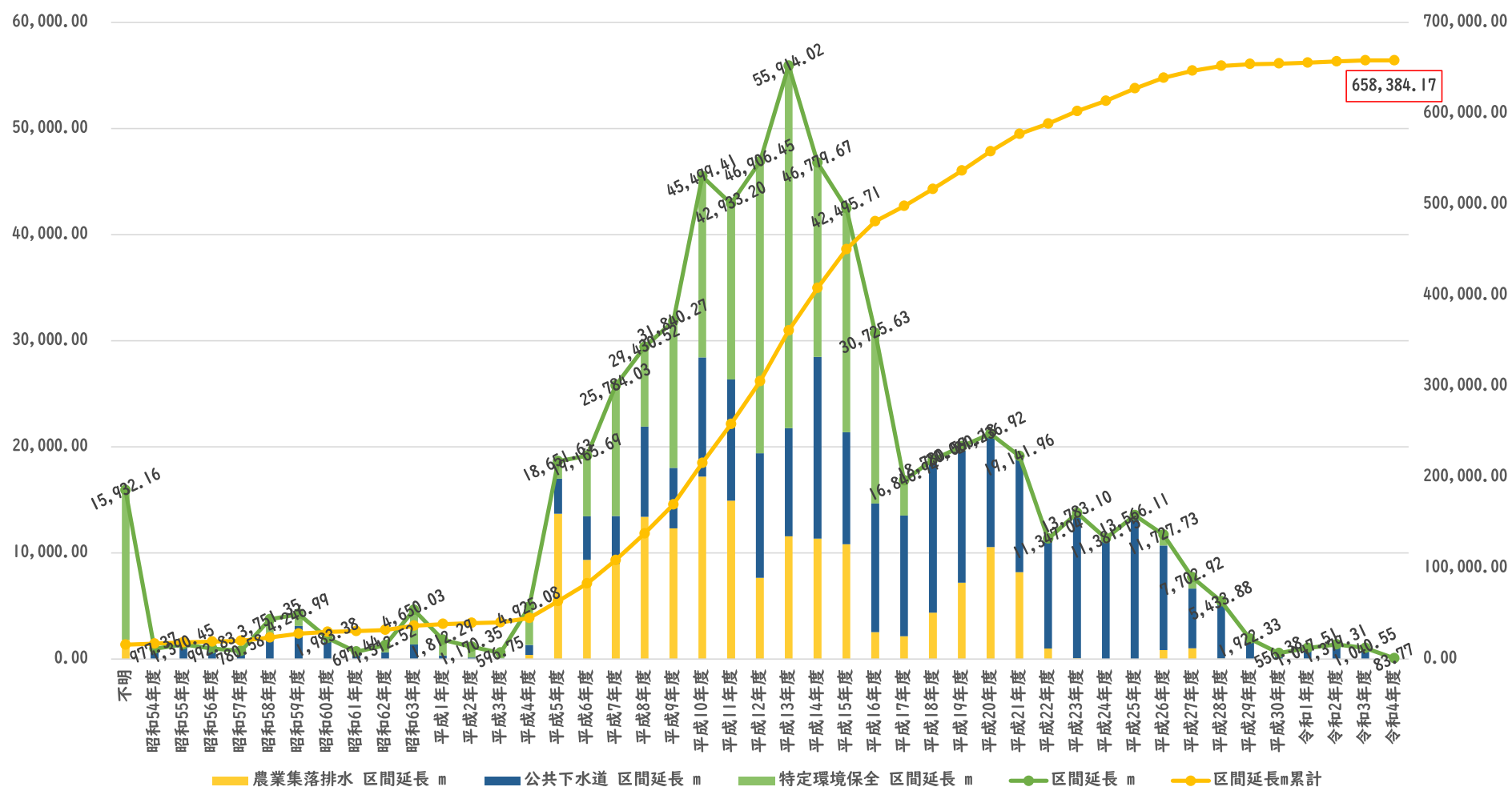
- ・ 維持管理経費の人件費、動力費などの物価上昇による増加
- ・ 点在する多くの施設があり非効率化
- ・ 老朽化及び耐震化、広域化（維持管理費コストダウン）の費用の投資が必要
- ・ 合併前旧市町村で同時期に下水道整備を実施したため同様に老朽化対策が必要だが、優先順位を決め投資が必要
- ・ 過年度の施設整備の企業債償還金の長期化
- ・ 人口減少に伴う下水道施設の在り方の検討が必要
- ・ 水洗化率向上へ向けた目標値の設定などの具体的な取り組みが必要

②-1 施設経過年数

■ 経過年数 ■ うち更新後経過年数 ● 平均年数(25.53年)



②-2 污水管渠整備状況



③村上市下水道（污水）事業の近年の整備状況と今後の予定

公共・特環

公共村上処理区では、平成25年度から平成30年度に瀬波第一、第二中継ポンプ場の機械、電気設備更新工事を実施し、平成30年度から令和7年度に第1期改築工事完了予定で村上浄化センターの改築及び耐震工事を進めている。

今後は、効率化と維持管理経費削減のため集排施設の統廃合（広域化）に合わせ村上浄化センターの第2期改築及び耐震工事と特環府屋浄化センターの改築及び耐震工事を優先に進める予定。

集排

平成22年度から平成24年度に羽下ヶ渚処理場、平成28年度から平成30年度に越沢処理場、平成30年度から令和元年度に中浜処理場、平成31年度から令和4年度に高根処理場、令和2年度から令和4年度に蒲萄処理場の改築更新工事を実施。また、令和3年度から令和6年度完了予定で南大平処理場の改築更新工事を進めている。

令和7年度以降は、上海府処理場、中継処理場、荃太処理場の改築更新を進める予定。

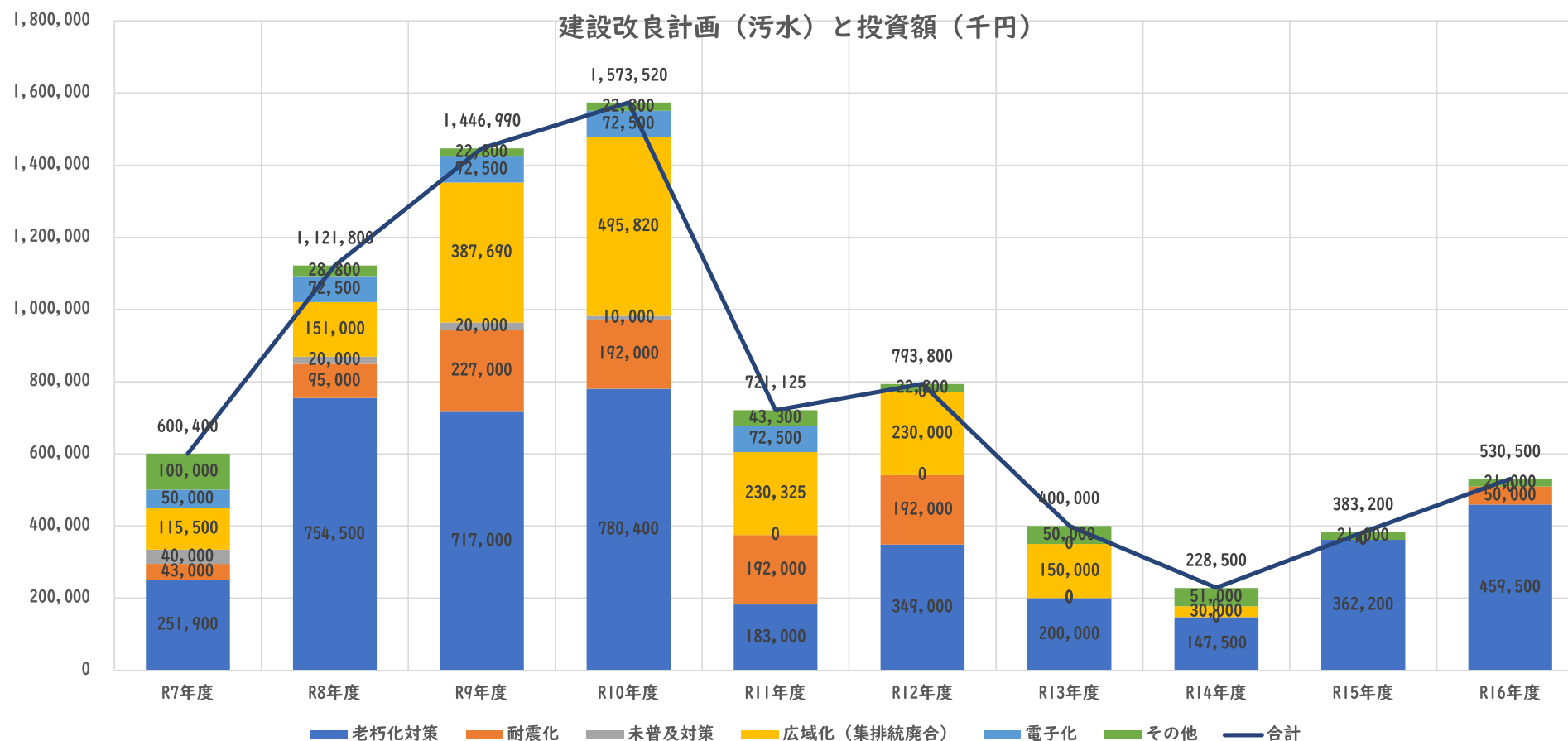
今後は、効率化と維持管理経費削減のため公共、特環施設への統廃合や集合処理から個別処理への検討を予定。

④今後の主な建設改良事業（污水）の計画内容（令和7年度から令和16年度の10年間）

- 老朽化対策・・・公共：村上浄化センター、岩船污水中継ポンプ場
特環：府屋・平林・朝日・八幡浄化センター、山北下水道管理センター、
府屋中継ポンプ場など
集排：上海府・中継・荃太・越沢・中浜・羽下ヶ渚・蒲萄処理場ほか
- 耐震化・・・・・・・・公共：村上浄化センター、瀬波第1・第2中継ポンプ場
特環：府屋・黒川俣浄化センター、大毎・北中中継ポンプ場
- 未普及対策・・・公共：荒川処理区（都市計画道路東大通り線及び南中央線）
- 広域化・・・・・・・・西神納・神納・東神納→村上浄化センター
（集排統廃合）山辺里・相川・門前鋳物師・三面→朝日浄化センター
- 電子化・・・・・・・・下水道施設及び管路台帳、排水設備台帳、井戸メータ台帳など
- その他・・・・・・・・全体計画見直し、事業計画変更、公共ます設置工事など

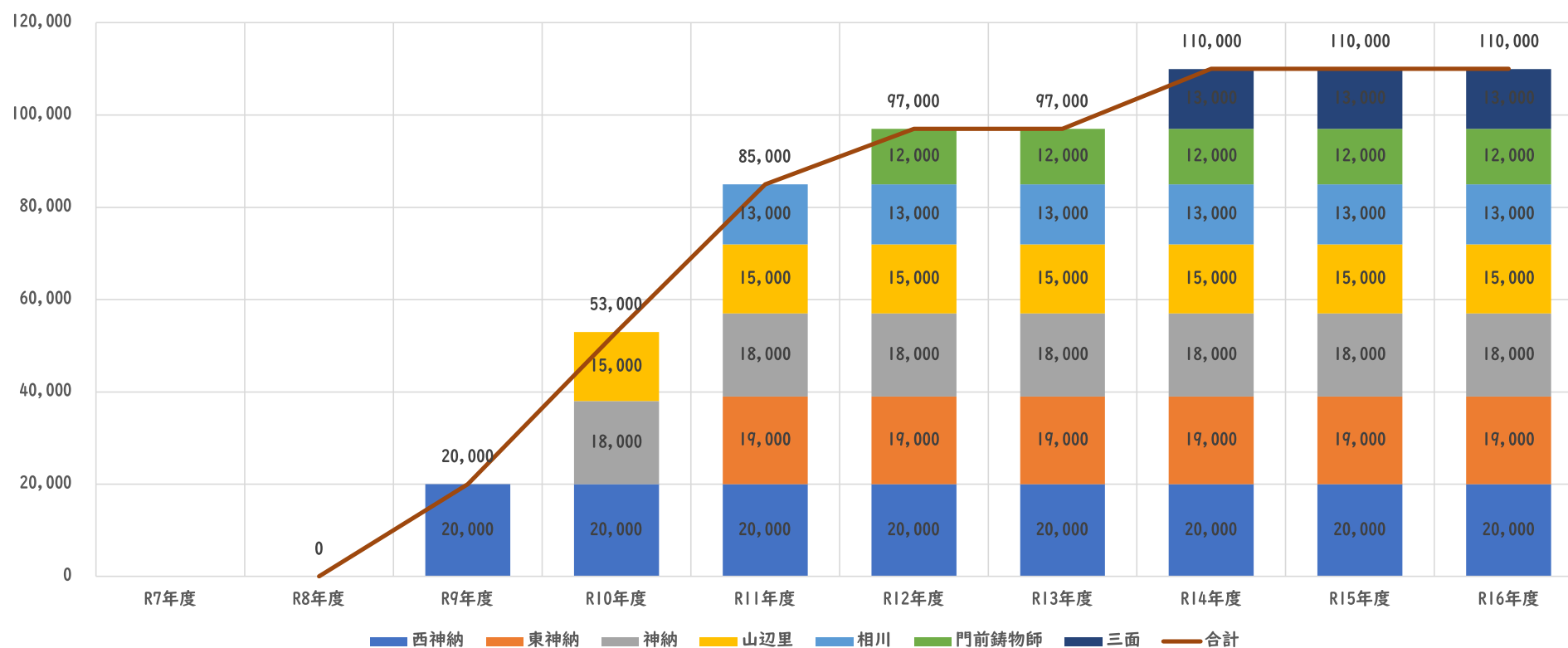
⑤今後の建設改良事業計画と投資額（污水）

村上市下水道事業経営戦略で計画している、令和7年度から令和16年度までの10年間の主な建設改良計画と投資額（10年間で投資総額7,780,000千円）



⑥広域化（集排統廃合）に伴う効率化による維持管理費削減効果 （令和7年度から令和16年度 10年間で削減額682,000千円）

広域化（集排統廃合）に伴う維持管理費削減効果（千円）



※令和6年度当初予算 収益的支出処理場費を基準として算出